

### 1 自己評価及び第三者評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                         |            |           |
|---------|-------------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2873100560              |            |           |
| 法人名     | 株式会社 ユニマツリティアメント・コミュニティ |            |           |
| 事業所名    | 川西ケアセンターそよ風             |            |           |
| 所在地     | 兵庫県川西市出在家町22-7          |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和2年3月3日                | 評価結果市町村受理日 | 令和2年8月25日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.jp/28/">http://www.kaigokensaku.jp/28/</a> |
|----------|---|

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                      |  |  |
|-------|----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 H.R.コーポレーション    |  |  |
| 所在地   | 兵庫県西宮市甲陽園本庄町6-25-224 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和2年6月29日            |  |  |

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

共同生活住居において、家庭的な環境の下で、利用者の認知症等の進行を緩和し、心身の状況に合わせ、自立した暮らしが出来るよう、適切なサービスを提供する事を目的とします。利用者の意思及び人格を尊重し、常に、利用者の立場にたったサービスの提供に努めるものとします。医療機関との連携をはかり、その人らしく暮らしていることを、支援する地域密着型サービスに取り組んでいます。馴染みの関係、家族の思いを大切に、看取りも受け入れています。誤嚥性肺炎を予防するために、口腔ケアを徹底し、経口摂取で、お食事をとって頂くよう取り組んでいます。

#### 【第三者評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

交通の便がよく生活に便利な立地であると共に、近隣に木々や畑があり、窓からは山も眺望でき、緑に囲まれ季節の花々も楽しめる環境である。手作りの食事を継続し、中庭の菜園で収穫した野菜も食材に活用し、理念である「家庭的なあたたかさ」「季節感が味わえる環境」の実践に努めている。利用者個々に「介護援助計画表」を作成して、詳細な介護の手順や留意点を共有し、現状に即した個別支援に取り組んでいる。体操やレクリエーションを日課とし、口腔ケアにも注力し、自立支援に努めている。訪問診療・訪問看護等と連携を密にして健康管理・早期対応に努め、看取り介護にも対応している。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています<br>(参考項目:9,10,19)  | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | * 本評価は、緊急事態宣言により、令和2年3月実施予定を延期し、令和1年度分訪問調査として実施したものです。                    |  |

自己評価および第三者評価結果

| 自己                 | 第三者 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |   |
|--------------------|-----|--|---|---|---|
|                    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |   |   |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている   | 基本理念に「私たちは世界一のしあわせ創造企業を目指します」を掲げ、【寄り添う⇒なりきる】で認知症ケアを追求し、施設理念として家庭的な温かさ・安心の医療体制・季節を感じる環境を3大ポイントとして実践しております。また職員の目に入るよう掲示しております。 | 法人の理念と共に、事業所として具体的な「理念」と「基本方針」を掲げている。各フロアに掲示し、職員間の共有を図っている。自然に囲まれた環境を活用した季節を感じる機会作り、手作りの調理の継続、中庭での野菜や花の植栽、訪問診療・訪問看護・訪問歯科との連携など、理念の実践に取り組んでいる。   | 事業所の「理念」に、地域密着型サービスの意義を採り入れることが望まれます。理念の実践に向け、理念の実践状況を職員と共に振り返る機会を、定期的に設けることを期待します。 |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している   | 外部音楽療法・地域のイベント参加・ボランティアとの交流や近隣のスーパー等買い物に行き地域と繋がりを持ち、生活して頂けるよう努めている。   | 近隣の住民と挨拶や会話を交わしたり、畑の野菜をいただく等の交流がある。近隣の神社で初詣の祈禱を受けたり、秋祭りでは神輿の立ち寄りもあり、買い物等で地域の店舗を利用している。音楽療法・ギター演奏・歌・盆踊り等、定期的なボランティアの来訪があり、利用者が交流する機会となっている。地域の困難事例を積極的に受け入れたり、障害者の就労実習を受け入れる等、地域貢献にも取り組んでいる。 |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 困難事例の受け入れなどを積極的に行い、心身共に健やかな生活を送って頂けるよう多職種協働で行いました。開設17年目を迎え地域貢献に努めております。  |   |   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者 | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|----|-----|---|---|--|--|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 4  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | ご家族様や、地域包括支援センターの職員の方々のご意見やご要望を伺い、それらを職員と共有することでサービスの質の向上に努めています。   | 家族・地域包括支援センター職員と、事業所からの参加があり、1年に6回開催している。毎回、多数の家族(6名から16名)の参加がある。会議では、利用者状況・職員状況・行事実施や予定などの報告を行い、質疑応答、意見・情報交換を行っている。市や地域の情報、家族からの意見・要望等、会議での意見や情報をサービスや運営に活かせるように取り組んでいる。議事録は、質問に対する回答も明記して、全家族に郵送している。玄関に議事録ファイルを設置して公開している。  | 利用者・地域住民代表・知見者に参加を呼びかけ、構成メンバーを充足し、多方面からの意見をサービス向上に活かすことを期待します。                         |
| 5  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 事業所で判断せずにはわからない事等は問い合わせてを行い、相互理解を図っております。   | 運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加があり連携を図っている。主にメールで市からの情報提供や通知があり、サービスや運営に反映している。法令解釈などで不明な点があれば、窓口や電話で問い合わせ、回答や助言を得ている。  |  |
| 6  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 玄関については、防犯上及び施設前の道路は、車の往来も多くカーブとなっている為、危険度が高く施錠しておりますが、外に出たなどの訴えがあれば、一緒に外に出る等行っております。またセンター内でも研修を行い、利用者の安全を図り自由な暮らしの支援を行っております。 | 法人共通の「身体拘束等の適正化のための指針」「身体拘束適正化・高齢者虐待防止マニュアル」を整備し、身体拘束をしないケアを実践している。「身体拘束適正化・虐待防止検討委員会」を毎月実施し、適正化のための検討を行っている。委員会の議事録を回覧し、職員に周知を図っている。「身体拘束適正化・虐待防止」研修を、指針・マニュアルを資料として年2回行っている。出席できなかった職員にも資料を配布して、全員が報告書を提出し周知を図っている。各ユニットのドアと玄関の開錠には操作が必要であるが、利用者に出足の希望がある時は職員が対応し、閉塞感を感じないように配慮している。 | 各種研修の実施記録については、日時・出席者・資料(内容)・受講報告書をわかりやすく整理する工夫が望まれます。委員会については、議事録の職員周知を明確にする工夫が望まれます。 |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 7  | (6) | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている     | 全体会議内研修やカンファレンス等で学ぶ機会を持ち、ご家族様からの意見も反映させながら知識・意識の向上と、虐待の防止の徹底に努めております。                | 「高齢者虐待防止」についても、上記「身体拘束適正化」と同様に、マニュアル・委員会・研修で意識向上を図り、不適切ケアの防止に取り組んでいる。職員のユニット間の協力体制があり、お互いのユニットでの気づきについて意見交換し、注意喚起する機会がある。管理者・リーダーは相談しやすい職場環境づくりに努め、希望休・有給休暇取得の推進、親睦会等、職員のストレスがケアに影響しないように取り組んでいる。 |                   |
| 8  | (7) | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 全体会議内研修にて学ぶ機会を持つと共に、成年後見人制度の必要性を理解し、情報提供が出来るよう取り組んでおります。(成年後見人制度を活用されているご利用者様もおられる為) | 成年後見制度を活用している利用者があり、運営推進会議に後見人が出席することもあり、職員は実務を通して制度について理解する機会がある。事業所として、金銭管理関係書類の提出、心身状況の報告等、制度利用を支援している。今後も制度利用の必要性や家族からの相談があれば、管理者が相談に応じる体制がある。  |                   |
| 9  | (8) | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                      | 見学時、契約時に重要事項説明書に添った説明を行い、不安や疑問の解消を図っております。その都度質問を受けて対応しております。                        | 見学時に、パンフレット・料金表をもとに、事業所の特徴やサービス内容について説明している。契約時には、重要事項説明書を中心に、契約書・指針・同意書等を用いて、質問に答えながら丁寧な説明を心がけている。契約内容に改定がある場合は、改定内容を文書で説明し、同意書で同意を得ている。契約の終了についても契約時に説明し、個別の状況に応じて対応している。                       |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | (9)  | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 運営推進会議の活用とご意見箱の設置の他、直接意見や要望を伺い、それらを各種会議にて共有し、書面を作成しご家族様にお渡しする等を行い、ご意見・要望をケアの向上に反映するようにおこなっております。            | 運営推進会議に毎回多数の家族の参加があり、質問・意見・提案等が積極的に出され、サービスや運営に反映できるよう取り組んでいる。運営推進会議の議事録に回答や対応を詳細に記載し、家族に郵送してフィードバックしている。家族の面会時には介護記録を読んでいただき、個別の意見・要望の把握にも努めている。意見・要望は管理者が集約し、各フロアに伝え迅速な対応に努めている。玄関に意見箱も設置している。 |                   |
| 11 | (10) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 管理者は各種会議で状況の把握や検討の他、個人とも話をする機会を持ち運営に反映できるよう努めております。   | 毎月、各フロアで、「ケアカンファレンス」と「フロア会議」を開催し、利用者のケアや介護計画、また、業務について検討する機会を設けている。参加できなかった職員には、申し送りノートで要点を伝え共有を図っている。「全体会議」は適宜開催している。管理者・フロアリーダーが適宜個別面談し、職員の意見や提案を個別に聴く機会も設けている。                                |                   |
| 12 |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 代表者(社長)に改善案や困りごと、誇れることなどをメールし、現場の状況を把握してもらっております。また事業部長にも都度都度相談し、センターにも訪問してもらい職員と話をする機会を作り、環境・条件整備に努めております。 |  |                   |
| 13 |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 本社主催の年間研修で多種多様の研修に参加や外部研修に参加、またセンター内でも全体会議内研修を活かし、介護の質の向上に努めております。  |  |                   |
| 14 |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 会社内の協議会の他、民間主催の交流会に参加し、サービス品質向上の為の意見交換・情報交換に努めております。  |  |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己                          | 第三者  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|-----------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                             |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 15                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | ご本人の生活歴を把握し、【寄り添う⇒なりきる】を意識した関わりで初期の信頼関係の構築に努めております。   |  |                   |
| 16                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 先に事業所の出来る事出来ない事を伝えるのではなく、まずはご家族様の立場に立ってお話に耳を傾けます。ご家族様の思いを尊重したうえでサービスの特色をお伝えし、関係づくりに努めております。 |  |                   |
| 17                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 診療情報の確認、事前の面談と入所判定会議において、初期対応の見極めと支援に努めております。   |  |                   |
| 18                          |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 相手を尊重した声掛けと対応で、「利用者本位」「自立支援」という介護保険の根幹を意識して日々の生活を一緒にさせて頂いております。                             |  |                   |
| 19                          |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族の存在は切り離せないものであり、チームケアを推進していくうえでもご家族様の思いなどは尊重させて頂いております。                                  |  |                   |
| 20                          | (11) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 知人の来訪もしばしある中で、職員が間に入りながら以前の関係が途切れないよう支援しております。  | 入居時の面談や日々のコミュニケーションの中で馴染みの関係についての情報があれば、「実態調査票」や介護記録に記録している。家族の了解を得た上で、親族・友人・知人の面会を歓迎し、馴染みの人との関係継続を支援している。馴染みの場所への外出には家族が同行し、車椅子の貸出や介護タクシーの手配など、出かけやすいように支援している。 |                   |
| 21                          |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 人生観・価値観がお一人ずつ違う中で、食事や余暇の時間など、心地よい距離間はどこにあるのかを意識して、関わりあいや支えあいに努めております。                       |  |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己                                 | 第三者  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |  |
|------------------------------------|------|--|---|---|--|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 必要に応じてご本人とご家族の経過をフォロー、利用時の状況や介護の工夫、好みなどをお伝えし、連携がスムーズに行くよう配慮に努めております。  |   |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |   |  |
| 23                                 | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 事前に多くの情報と意向を集め、カンファレンスにて「望む暮らし」「なりたい自分」は何かの検討し把握に努めております。   | 利用者個々の思いや暮らし方の希望は、日々のコミュニケーションで把握に努め、タブレットの介護記録に入力し、ケアカンファレンス等で共有し検討している。意思の疎通が困難な場合は、表情や行動から汲み取り、ご家族からの意見も参考にしながら、「本人になりきる」姿勢で思いや意向の把握に努めている。  |  |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人、ご家族からの聞き取りの他、これまで関わっておられたケアマネージャーが居られればその方にも連絡を行い、これまでの暮らし方やサービス利用時の様子の把握に努めております。                      |   |  |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | その方の生活習慣やこだわりを大切に、スタッフ間での報連相と情報の共有を行う事で、現状の把握に努めております。  |   |  |
| 26                                 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月実施するカンファレンスとミーティングを行い、ご本人とご家族の要望を反映させた介護計画が作成できるよう取り組みを行っております。また、ご家族にもカンファレンスに参加頂き、介護計画を作成するよう取り組んでおります。 | 「実態調査票」「アセスメント表」をもとに「介護計画」と、詳細な介護の手順や留意点を記載した「介護援助計画表」を作成している。サービスの実施状況は、タブレットの介護記録に入力している。毎月ケアカンファレンスを実施し、定期的には3カ月毎に、必要時には随時、計画の見直しを行っている。見直し時には、「モニタリング実施記録票」を用いて再アセスメントとモニタリングを行い、カンファレンスで検討した内容を「サービス担当者会議録」に記録している。見直し後に変更した内容は、申し送りノートで職員に周知を図っている。 | 今後、システムの書式を活用し、計画に沿ったサービスの実施状況が明確になる日々の記録の導入を期待します。利用者・家族の希望や主治医など関係者の意見も、「サービス担当者会議録」に記録してはどうか。 |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者  | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|---|--|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                                     | その人にとっての介護計画を作成するに当たり、ありのままを個人記録に記録、情報の共有を図る事で介護計画の見直しに役立てております。   |  |                   |
| 28 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 可能な限り支援出来るように、職員間・ご家族様と検討し、その都度生まれるニーズに柔軟に対応できるよう取り組みを行っております。   |  |                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の催しの参加や、定期的な外出など安全に豊かな暮らしが送れるよう、支援に努めております。  |  |                   |
| 30 | (14) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | ご本人、ご家族の意向に沿って希望する医療が受けられるよう支援しております。また主治医の指示にも迅速に対応できるよう職員間での連携を図っております。川西市医師会のバイタルリンクも活用しております。                    | 入居時に確認し、利用者・家族の希望に沿った受診を支援している。協力医療機関による内科・歯科・皮膚科の定期的な訪問診療や、心療内科の随時の往診を受けられる体制がある。通院の際は、家族の協力のもと、必要に応じて職員も同行している。医師とは「訪問診療ノート」で、訪問看護師とは「訪問看護師との連絡表」で連携を図り、必要事項はタブレットの介護記録にも転記している。川西市医師会のバイタルリンクも活用している。 |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 訪問看護との契約を行ない、24時間の連携を確保しております。4回/月の訪問看護や疑問点など速やかに電話連絡を行い、相談する事が出来ております。よって早急な対応が行え、ご利用者の疾患や疾病を重症化させずに介護をする事が出来ております。 |  |                   |
| 32 | (15) | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には介護サマリーの提供を行い、退院時にはカンファレンスに参加、医療と介護の切れ目ないサービスが提供できるよう努め、退院後も安心して生活できる体制作りに取り組んでおります。                             | 入院時には看護サマリーで情報を提供している。入院中は面会に行き、看護師から情報を得て、また、医療連携室と連携を図り早期退院に向け支援している。退院前カンファレンスがあれば参加し、退院時には看護サマリーの提供を受けている。必要に応じて介護計画や生活環境を見直し、退院後も安心して生活できるように取り組んでいる。   |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己                               | 第三者  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33                               | (16) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 契約時に看取りに関する指針の説明を行い、重度化した場合にも再度主治医との面談を実施、看取りに向けての支援を行っております。また、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」の取り交わしも行い、現時点での思い等を伺うようにしております。 | 契約時に「重度化・看取り対応指針」に沿って具体的に説明し、家族の同意を文書で得ている。重度化を迎えた段階で、主治医が状況の説明を行い、家族の意向を再度確認している。家族の希望に沿って介護計画を見直し、看取りに向けての支援を行っている。年1回、「急変時や終末期における医療等に関する意思確認書」で、現時点での意向確認を行っている。看取りについて研修を実施している。                 |                   |
| 34                               |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 全体会議内研修や外部の研修に参加、AEDの設置も完了(1回/年研修実施)し、急変時や事故発生時に迅速に対応が出来るよう実践力を身に付けております。また、訪問看護にもすぐに連絡を取り、指示を仰ぐ体制を整えております。              | /   | /                 |
| 35                               | (17) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 年2回の消防訓練と定期的な消防設備点検を実施、水防法にも対応する為、水害訓練も行って災害対策に取り組んでおります。またセンター内独自の取り決めがあり、職員からの意見も取り入れ、対策を決めております。                      | 年2回の昼・夜想定消防総合訓練と、その中で1回水害訓練(縦移動避難訓練)を実施している。可能な利用者は参加し、消防署や点検業者が立ち合う場合もある。できるだけ多くの職員が参加できるよう工夫し、実施後は朝礼で報告し周知を図っている。緊急連絡網で近隣に住む職員に協力を求める体制があり、夜間は外部の協力を求める方法も決めている。本社が管理している備蓄品と、事業所の備蓄品を、2階倉庫に整備している。 |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |   |                   |
| 36                               | (18) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている   | 羞恥心や自尊心に配慮した声掛けや対応を行い、ご利用者お一人お一人の尊厳の保持、プライバシーの確保を支援しております。   | 利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉遣いや対応に努め、気になる点があれば管理者からや、職員間でも注意喚起している。職員は入職時に守秘義務について説明を受け、誓約書を交わしている。個人情報に関わる書類は、事務所の鍵のかかる書庫で管理している。利用者の写真・映像の使用については、契約時に文書で同意を得ている。   |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 者    | 第三 | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|------|----|--|---|---|-------------------|
|    |      |    |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37 |      |    | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 自己選択、自己決定につなげる関わりを心がけております。また自己の表現が困難な方においては、代弁機能としてその人になりきった対応を心がけるようにしております。。       |   |                   |
| 38 |      |    | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 認知症ケアとして、規則正しい生活は必要ですが、お一人お一人の生活ペースと意向を把握して利用者本位のケアを提供できるよう、その人らしい暮らしの実現に向けて心がけております。 |   |                   |
| 39 |      |    | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 訪問理美容を利用し、身だしなみやお洒落の支援を行っております。。外出時においても普段とは違う装い、季節に合った服装を着て頂き、外出意欲を促せるように支援しております。   |   |                   |
| 40 | (19) |    | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 調理の際の匂いや音等といった五感に働きかける事も食の支援と考え、食事中に限らず、その後のあと片付けも含めた支援に努めております。                      | 本社作成の献立を参考にしながら、各ユニットで利用者の希望や状態を考慮し、また、季節感や行事食も採り入れて献立を作成し、手作りの食事を提供している。中庭の菜園で収穫した季節の野菜も食材に活用している。買い物・野菜のカット等の調理作業・テーブル拭き・下膳等、利用者が個々の力を活かして参加できるように支援している。職員も一緒に同じ食事をとり、家庭的な雰囲気食事が楽しめる環境である。誕生日に希望のケーキや和菓子でお祝いし、ユニット毎に外食の機会を設け、百貨店のお弁当を発注する等、変化を楽しめる工夫もある。 |                   |
| 41 |      |    | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事量や水分量は食事形態に工夫しながら対応しております。特に水分においては水分ケアの観点から1日1200cc以上を目標に支援しています。                  |   |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 者    | 第三 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|----|--|--|---|-------------------|
|    |      |    |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 42 |      |    | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 口腔ケアの重要性を理解し、起床時と就寝時の他、毎食後口腔ケアを行っています。定期的な歯科衛生士の訪問、必要に応じ訪問歯科診療、アドバイスや質問等を行い、口腔内を清潔に保持出来るよう努めております。 |   |                   |
| 43 | (20) |    | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 排泄の自立は自尊心の自立と考え、排泄表を用いてトイレでの排泄が行える様支援しております。またオムツの方もできる限りトイレでの排泄が行える様、個々に支援しております。                 | 排泄の自立度の個人差が大きい、「排泄表」で排泄状況や排泄パターンを把握し、昼間はトイレでの排泄ができるように支援している。利用者個々の排泄介助についての詳細な手順や留意点を、「介護援助計画表」で共有している。介助方法や排泄用品について検討事項があれば、申し送りノートで情報共有し、経過を見ながら現状に即した支援につなげている。誘導時や介助時の声かけや対応に留意し、プライバシーや羞恥心への配慮に努めている。 |                   |
| 44 |      |    | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 水分量1200cc以上を目標に、お通じに効果のある食事や飲み物を提供、体操等で自然排便を促すと共に、訪問看護とも連携しながら便秘の予防と対応に努めております。                    |   |                   |
| 45 | (21) |    | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴の時間は信頼関係を築く重要な時間と考え、清潔保持の目的のみにならないよう関わりを行いました。また機械浴も設置し、重度化の方にもお湯に浸かって頂けるように対応しております。            | 週2～3回午前入浴を基本とし、その日の体調・気分・予定に応じて臨機応変に対応している。広い浴室での個浴で、自身のペースでゆっくり入浴できるように支援している。会話を楽しむ、好みのCDを流す、入浴剤やアロマを入れる等、入浴を楽しめるよう個別に工夫している。1階には機械浴を設置し、利用者の状況に応じて対応している。  |                   |
| 46 |      |    | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 照明の調節、職員の声のトーン、寝具等の就寝環境に配慮し、安心して眠って頂けるよう支援しております。  |   |                   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                               |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 主治医、訪問看護師、薬剤師、介護士の多職種協働で支援に努め、症状の変化等の確認に努めております。  |  |   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 生活の中で個々に合った役割意識を持って頂くよう関わりを行い、その人の気分や好みにも応じて支援をしております。  |  |   |
| 49 | (22) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | ご家族のご協力も頂きながら外気に触れる機会や外出レクリエーション等で日常的な外出の支援を行っております。  | 日常的には、テラス・中庭・近隣の公園等で外気浴をしたり、中庭の菜園で水やりや収穫をする等、戸外に出る機会作りに努めている。年間行事計画を立て、外出行事として、初詣・バラ園・紅葉狩り・外食・ドライブ・京都大文字見学等、利用者個々の状況に応じて外出できるよう支援している。 | 今後も、利用者一人ひとりの希望に沿った外出機会が増えるよう支援に取り組まれることを期待します。 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                             | どうしてもお金を所持したいとのご希望のご利用者様には、少量の金額を財布に入れ、ご自身でお持ち頂いております。ただ、そのお金を持って買い物に行くという事は出来ておりません。契約時に書面で同意を交わし、管理方法を統一、徹底して支援しています。毎月末時に領収書と出納書をコピーしご家族様にお渡ししております。     |  |   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている  | 携帯電話のお持ち達は控えて頂いておりますが、センターの電話を使用することに制限は設けずに外部との交流を支援しています。字を書く能力がおありの方には、季節毎に葉書・年賀状・手紙等を書いて頂いております。またご家族様から届いた葉書等を読む事が難しい方に対しては、代わりに朗読しご本人様に伝えるよう支援しております。 |  |   |

# 川西ケアセンターそよ風

| 自己 | 第三者  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|--|--|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (23) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 生活感、季節感を取り入れた装飾等や馴染みの曲をBGMで流す、テラスに椅子やテーブルを設置し、外の風景や電車が通り過ぎる様子を見ながら、お茶等を飲んで頂いたり、ご利用者にとって居心地良く過ごして頂けるよう工夫しております。 | 共用空間の壁面に利用者が制作した季節の作品を飾り、季節感が感じられる。テーブル・椅子・ソファを数種類配置し、パーソナルスペースにも配慮している。テラスやロビーにもソファ・ベンチ・テーブルを設置し、外の風景を見たり、お茶を飲む等、くつろげる環境である。長い廊下に手すりが設置され、生活リハビリにも活用している。体操や歌を日課とし、個別に歩行訓練・パズル・ぬり絵・洗濯たたみを行う等、好みの活動に参加している。キッチンからの調理の音や匂い、調理や洗濯たたみに参加する等、生活感も感じられる。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 集団生活を営むにあたってご利用者同士の適度な距離感は重要と考え、共同スペースにおいてもパーソナルスペースが保てるよう家具のレイアウトなどに配慮しております。                                 |   |                   |
| 54 | (24) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | その人らしく暮らすことが出来るよう馴染みの家具等をお持ち頂いて、落ち着いて生活が出来よう工夫すると共に、安全面も考慮したうえで、ご本人の望むレイアウトに配慮しました。                            | 各居室にクローゼット・カウンターテーブル・ベッド等を設置している。たんす・棚・鏡台など使い慣れた家具や、写真・ぬいぐるみ・仏壇など馴染みの物を持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。居室前に写真と名前を掲示し、場所間違いの防止に努めている。利用者の状態に応じて、ベッドや椅子を室内手前に配置する等、安全なレイアウトに配慮している。  |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 個々の身体機能に合わせ、生活リハビリを主としながらADLの向上を図り、自立した生活が送れるよう声掛け等工夫を行っております。   |   |                   |